

5. まちづくりの目標

▶ 人口減少率を佐世保市・本土並みに

第7次佐世保市総合計画に掲げる目標に合わせ、佐世保市全体と同等の人口減少率にまで引き上げることをプランの目標（KGI）とし、その達成に向けて、各指標（KPI）を右表のとおり設定します。

まちづくりプランの目標（KGI）	2024年 (2024.4.1時点)	2034年
宇久町の人口	1,644人	1,445人
目標を達成するための指標（KPI）	短期 (2025～27年)	中・長期 (2028～34年)
宇久島ホストファミリー登録制度 ゲスト登録件数	60件 (3年間の累計)	200件 (10年間の累計)
移住世帯数	3世帯/年	10世帯/年
宇久高校の離島留学生の入学人数	5名/年	5名/年
プランに基づく住民・民間主体の まちづくり取組み件数	5件/年	5件/年

6. 将来像の実現に向けて

▶ 住民総出によるまちづくりの推進が必要

各テーマに基づくまちづくりの取組みは、さまざまな人が活動できる場づくりが重要です。

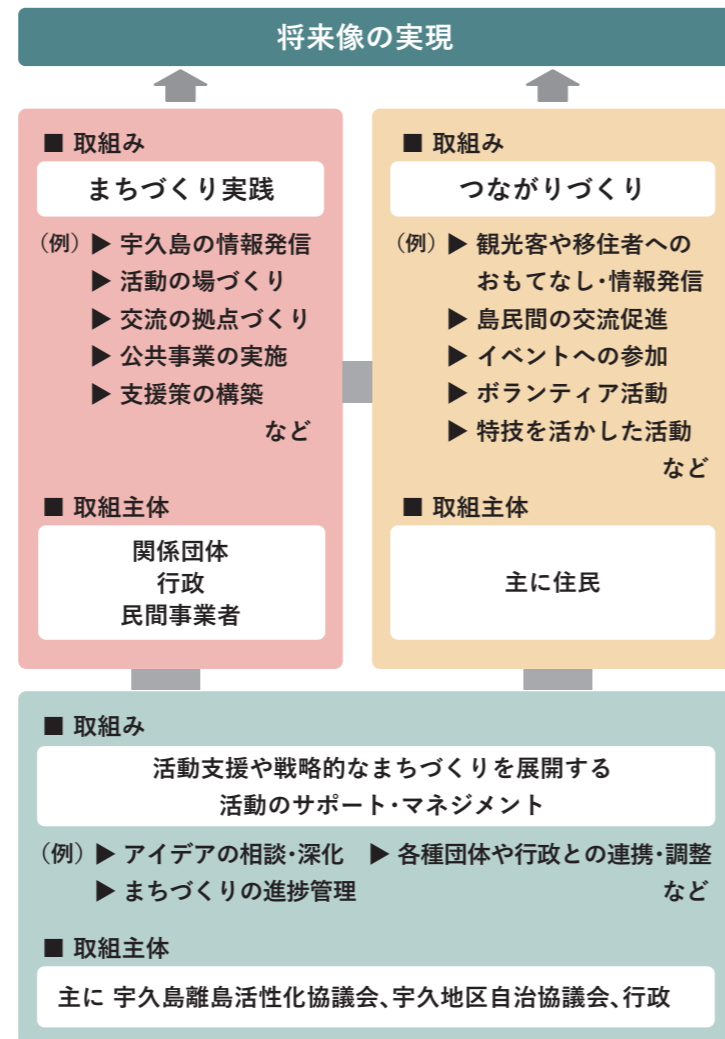
- ・住民の皆さんには、特に来訪者に対して「おもてなしの心」で接し、さまざまな活動に参画・協力いただくことが必要となります。
- ・宇久島離島活性化協議会や宇久地区自治協議会では、各テーマで実践される取組みを把握し、必要に応じて支援・マネジメントを行うことが役割として求められます。
- ・行政は、引き続き行政センターを中心に本庁の関係課と連携を強化し業務を遂行するとともに、協議会等が実施する取組みに対して必要な支援を行います。
- ・まちづくりに関心のある地域外の民間企業や個人の参画・協力も重要です。

▶ 確実な実施に向けたPDCAサイクルによる評価・検証

重点プロジェクトをはじめ、地域課題の解決や目標達成のためには、一歩ずつできるところから着手し積み重ねていく必要があります。

また、定期的に協議会等において、まちづくりの進捗や対策を確認するとともに、3～4年毎に取組みの評価を行い、進捗状況に応じてプランの意直しを適宜実施します。

<将来像の実現に向けた各々の役割>



宇久島未来まちづくりプラン 概要版

2025年3月発行

事務局：佐世保市 地域未来共創部

宇久行政センター 産業建設課

TEL：0959-57-3113 FAX：0959-57-2412

Mail：u.sangyo@city.sasebo.lg.jp

この概要版は各家庭で保管していただき、住民の皆さんがまちづくりに参画・協力する際にご活用ください。プランの完全版は、右記の二次元コード（ホームページ）や行政センターのほか、各地区に配布する冊子にてご確認ください。



島の未来を、みんなで作る

宇久島未来 まちづくり プラン

概要版

2025.3

佐世保市地域未来共創部
宇久島離島活性化協議会
宇久地区自治協議会

1. 「宇久島未来まちづくりプラン」策定の経緯

▶ 宇久島を取り巻く厳しい状況

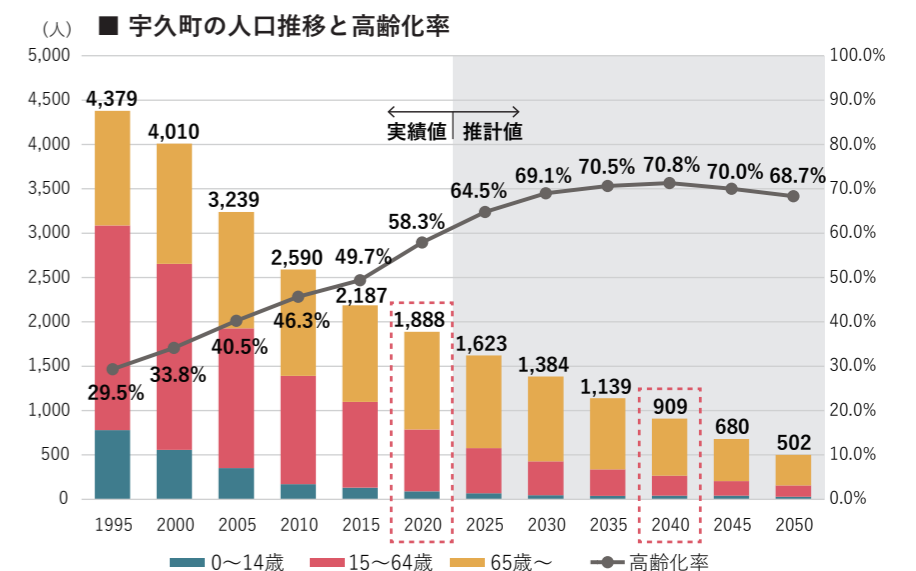
宇久島は著しく人口減少・少子高齢化が進んでおり、産業を担う働き手は減少、店舗や福祉サービスの維持も厳しい状況になるなど、生活環境も変化してきました。20年後の人口は1,000人を切る予測(右表)となり、今後ますます宇久島を取り巻く状況は厳しくなると考えられます。

▶ 住み続けたい宇久島を目指して

そこで、住み続けたい宇久島を目指して、持続可能なまちづくりのための行動計画「宇久島未来まちづくりプラン」を策定しました。

プランの策定にあたり、住民の皆さんとのワークショップ「宇久島楽園ミーティング」やまちづくりアンケートを行い、様々な地域の課題や取組みのアイデアが集まりました。

このプランは、住民一人一人がまちづくりに参加し、将来も住み続けられる宇久島を実現するためにはどうすればよいか考え、まちづくりの参考書としてみんなでまとめたものです。地域住民・民間事業者・行政が連携し、オール宇久（地域一体）での取組みが成功のカギです。



出典：実績値は各年の国勢調査、推計値は国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を使用

2. 解決すべき課題

▶ 宇久島ならではの地域課題への対応に注力

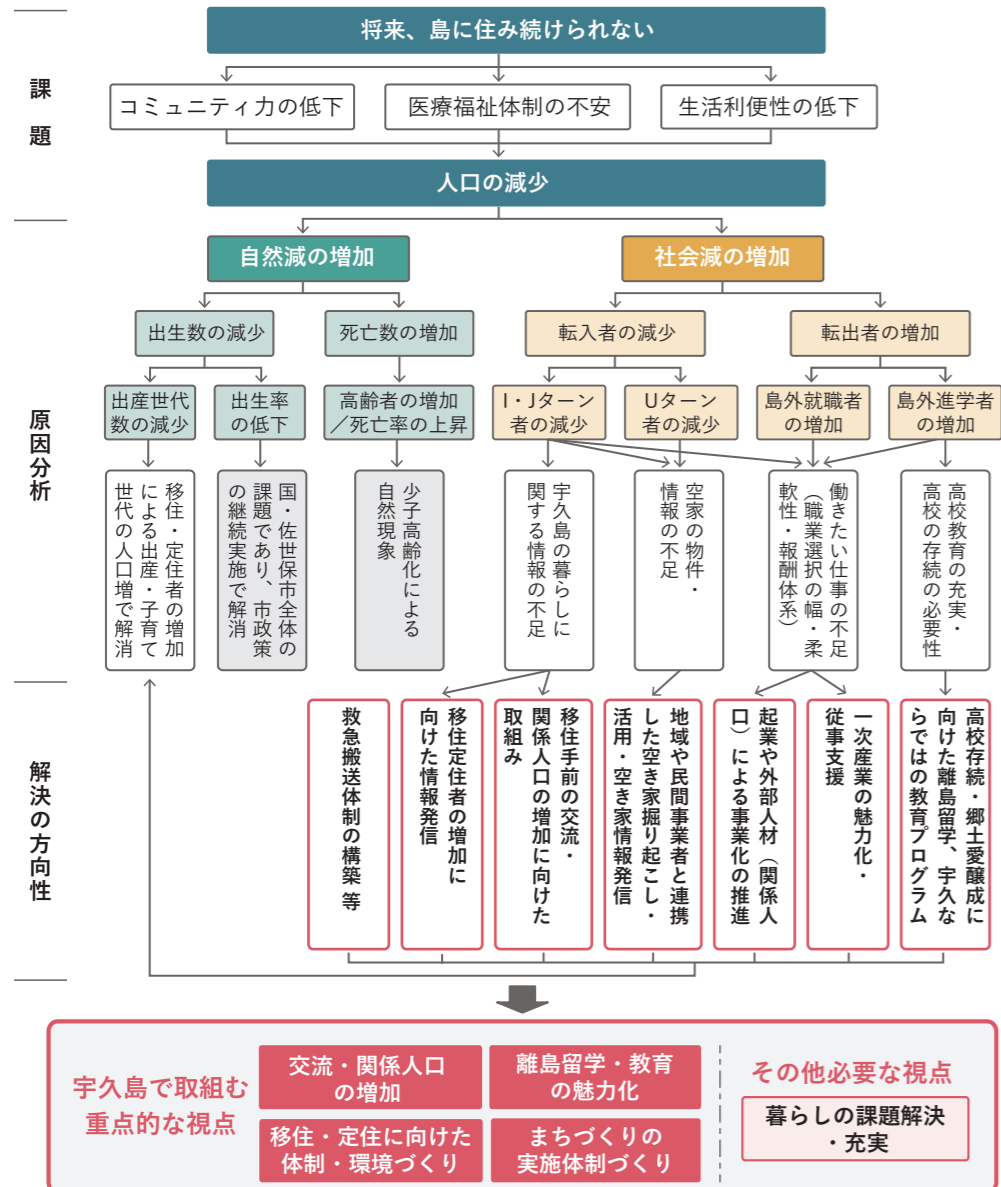
住民の皆さんから寄せられた課題やご意見を、大きく3つのカテゴリーに分類し、特に重点的かつ速やかに実施すべき③宇久島ならではの課題を本プランの対象として取組みます。

■ カテゴリー別課題と対応

- ① **民間活動の停滞等により生じる課題及び私的活動** 民間事業の縮小により生じる課題等、一般的に民間企業により提供されているサービスや私的活動は、基本的に本プランの対象外とし、必要に応じて支援等を検討。
- ② **全市平等に対応する行政共通の課題** 行政の事業・サービスのうち、本土と比べ十分に対応できていない課題は、行政(本庁)が本土と同等に対応していくこととし、本プランの対象外とする。
- ③ **宇久島ならではの課題** 国境離島である宇久島ならではの課題で、地域が一体となり、重点的かつ速やかに取組む必要があるものを本プランの対象とする。

▶ 将来も住み続けられる宇久島であるために

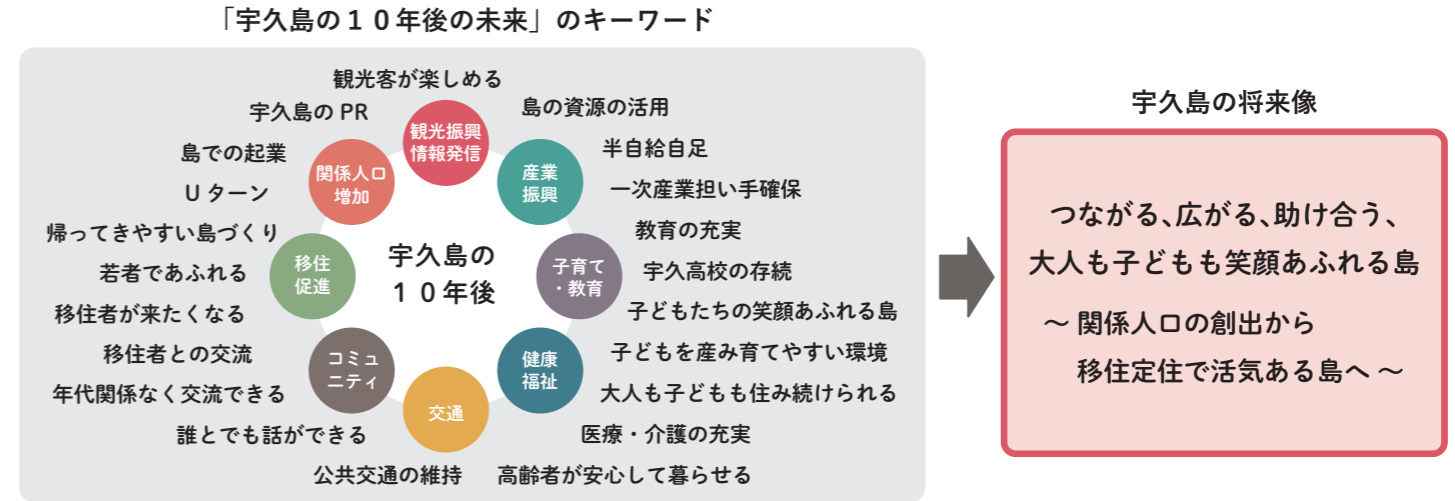
宇久島が抱える課題は、複数の要因が絡み合い生じています。それらの原因を深掘りし、特に解決すべき課題の方向性や取組むべき重点的な視点を抽出しました。



3. 宇久島の将来像

▶ 宇久島の10年後を見据えて、さまざまな人との関わり合いを増やす

宇久島楽園ミーティングでは、さまざまな視点で未来の姿や未来のためにやりたいことを語り合い、また、その結果、さまざまな人がこれまでよりもつながり、その輪を広げるとともに、一人一人の強みを生かして助け合うことで、宇久島をより良くしていく姿が浮かび上がりました。



4. まちづくりの取組み

▶ 将来像の実現に向けて、8つのテーマに取組む

宇久島の将来像の実現のため、課題分析の結果や宇久島楽園ミーティングでの意見を基に、下記の8つのまちづくりの方向性(テーマ)のもと、取組みを推進します。特に、重点的な視点に関するテーマは、優先度の高いものを「重点プロジェクト(下表の重点)」と位置付け、積極的に推進します。

視点	テーマ	方針 / 取組み (太字は重点プロジェクト)
交流人口・関係人口の増加	1 観光資源の再発見と体系的な情報発信	宇久島が有する豊かな地域資源を見つめ直し観光資源として活用。それら魅力を積極的体系的に情報発信することで認知度を高め、観光客や関係人口・移住希望者を引きつける宇久ブランドを育てます。 重点 宇久島のPR・情報発信 / 重点 来訪者へのおもてなし・声掛け / 観光地の清掃活動・環境保全と新たな観光の創出 / 島外の方々を呼び込む伝統的な祭りやイベントの開催 / 観光客受入れ増加のための宿泊施設の充実
	2 宇久島を支える関係人口の増加	地域住民の温かい受け入れにより島内外の深い関係性を生み出し、宇久島ファンの増加を目指すとともに、宇久島のまちづくりへの関心を高め、宇久島での起業など新たなチャレンジを支える環境をつくり出します。 重点 宇久島ホストファミリー登録制度による島民との豊かな関係構築 / 重点 ふるさとワーキングホリデー(大人の島留学)の構築 / 二地域居住等の推進
暮らしの課題解決・充実	3 交通・移動環境の整備	観光客を迎え入れるとともに、島民が安心して移動できるよう交通拠点を始めとする移動環境の改善に取組みます。 宇久島の玄関口の環境整備 / 市営交通船(寺島・小値賀航路)の利用促進 / 島内公共交通の維持・利用促進
	4 移住者にやさしいまちづくり	移住者の増加・安定的な受け入れに向けて、移住者に紹介できる住まいの確保や仕事等の情報を発信するとともに、住民一人一人が移住者を温かく受け入れ、相談・交流ができる環境をつくり出します。 重点 住まいの確保対策(空き家活用) / 重点 仕事の創出及び仕事情報の収集・発信 / 重点 移住希望者の受け入れ・移住者との交流の機会づくり
離島留学・教育の魅力化	5 環境にやさしく持続的な一次産業	島の主要産業であり魅力でもある農業・漁業・畜産業の持続化と仕事の創出に向けて、移住者を含む担い手確保や遊休農地等の活用、PR・販売促進等により、宇久島の生業や島の姿を守ります。 一次産業の担い手育成と遊休資産等の有効活用 / 宇久ならではの農水産物の生産と特産品の販売促進
	6 医療・福祉体制の確保	島民が健康で、地域で支え合いながら暮らすとともに、移住希望者が安心して移住できるよう、福祉・医療体制の確保を図ります。 医療提供体制等の確保 / 子どもから高齢者までつながる集いの場づくり
まちづくりの実施体制づくり	7 子育て・教育体制の充実	子どもたちが安心して暮らせるよう、子どもを地域ぐるみで育てる環境の維持・充実を図ります。特に、宇久高校への島外からの離島留學生の受入体制づくりに取組みます。 重点 離島留學生の受入体制の構築 / 重点 宇久島ならではの教育プログラムの充実
	8 まちづくり体制の再構築	地域が一丸となってさまざまなまちづくりの課題解決に取り組むため、既存の組織の連携強化・コミュニティの再構築により、持続可能なまちづくりが推進できる体制をつくり出します。 重点 まちづくりの検討や推進を行う組織の再構築及び定期的な意見交換の実施 / 重点 まちづくりを担う人材・組織の育成・支援 / 重点 住民・民間主体のまちづくりの推進